

## WHO 多様的手指衛生改善戦略の 5つの主要な構成要素

- 1. システム変革：**医療従事者が手指衛生を実施できるために必要なインフラ・ストラクチャーが整っていることを確認する。これには二つの必須の要素を含む：
  - 石けんとタオルと同様に、安全な持続的な水の供給が利用できる；
  - 「ケアの現場」で擦式アルコール製剤が直ちに利用できる。
- 2. トレーニング/教育：**「私の手指衛生5つの瞬間」アプローチに基づいた手指衛生の重要性と、手指擦式と手洗いの正しい手順について定期的なトレーニングを全ての医療従事者に提供する。
- 3. 評価とフィードバック：**医療従事者における手指衛生に関係した認知と知識とともに、その実施とインフラ・ストラクチャーをモニターし、スタッフにパフォーマンスと結果のフィードバックを提供する。
- 4. 作業現場のリマインダー：**手指衛生の重要性と手指衛生を実施するための適切な適応と手順について医療従事者に促し思い出させる。
- 5. 組織安全風土：**以下を含めて、全てのレベルにおいて、高い優先順位として手指衛生改善を考慮することを保証して、患者安全の問題についての認識が高めることを促進させる環境と認知を創造する。
  - 組織と個人レベルの両方において積極的に参加する；
  - 変革と改善のための個人と施の設能力を認識する；そして
  - 患者および患者団体と協力する。